

男女共同参画に関する府民意識調査

京都府では、このたび「男女共同参画に関する府民意識調査」を実施することになりました。この調査は、男女共同参画の諸問題についての京都府民の意識やニーズを把握し、新たな京都府男女共同参画計画策定のための基礎資料とするものです。

コンピューターで処理・集計される結果は、本調査の目的以外で利用することはなく、プライバシーは厳守されます。アンケート御協力のほど、よろしくお願いいたします。

Q1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 1 19歳以下
- 2 20-29歳
- 3 30-39歳
- 4 40-49歳
- 5 50-59歳
- 6 60-69歳
- 7 70歳以上

※ Q2で選択肢2～7（20歳以上）を選択した場合はQ3を表示。
選択肢1（19歳以下）を選択した場合は回答終了。

Q3 あなたのお住まいの都道府県を教えてください。

- 1 北海道
- 2 青森県
- 3 岩手県
- 4 宮城県
- 5 秋田県
- 6 山形県
- 7 福島県
- 8 茨城県
- 9 栃木県
- 10 群馬県
- 11 埼玉県
- 12 千葉県
- 13 東京都
- 14 神奈川県
- 15 山梨県
- 16 長野県
- 17 新潟県
- 18 富山県
- 19 石川県
- 20 福井県
- 21 岐阜県
- 22 静岡県
- 23 愛知県
- 24 三重県

- 25 滋賀県
- 26 京都府
- 27 大阪府
- 28 兵庫県
- 29 奈良県
- 30 和歌山県
- 31 鳥取県
- 32 島根県
- 33 岡山県
- 34 広島県
- 35 山口県
- 36 徳島県
- 37 香川県
- 38 愛媛県
- 39 高知県
- 40 福岡県
- 41 佐賀県
- 42 長崎県
- 43 熊本県
- 44 大分県
- 45 宮崎県
- 46 鹿児島県
- 47 沖縄県

※ Q3で選択肢26（京都府）を選択した場合はQ4以下を表示。
選択肢26以外（他の都道府県）を選択した場合は回答終了。

Q4 あなたのお住まいの地域を教えてください。

- 1 京都市
- 2 福知山市
- 3 舞鶴市
- 4 綾部市
- 5 宇治市
- 6 宮津市
- 7 亀岡市
- 8 城陽市
- 9 向日市
- 10 長岡京市
- 11 八幡市
- 12 京田辺市
- 13 京丹後市
- 14 南丹市
- 15 木津川市
- 16 大山崎町
- 17 久御山町
- 18 井手町
- 19 宇治田原町
- 20 笠置町
- 21 和束町
- 22 精華町
- 23 南山城村
- 24 京丹波町
- 25 伊根町
- 26 与謝野町

Q5 失礼ですが、あなたの年収を教えてください。※個人年収と世帯年収それぞれを教えてください。

5.1 個人年収

5.2 世帯年収

- 1 1-99万円
- 2 100万-199万円
- 3 200万-299万円
- 4 300万-399万円
- 5 400万-499万円
- 6 500万-599万円
- 7 600万-699万円
- 8 700万-799万円
- 9 800万-899万円
- 10 900万-999万円
- 11 1000万-

Q6 社会全体を見て男女平等はどの程度達成されていると思いますか。

- 1 平等になった
- 2 ある程度平等になった
- 3 あまり平等になっていない
- 4 平等になっていない
- 5 わからない

Q7 次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。

- 7.1 学校教育
- 7.2 職場
- 7.3 家庭生活
- 7.4 町内会や地域
- 7.5 政治や行政の政策・方針決定の場
- 7.6 法律・制度
- 7.7 社会通念、慣習、しきたり

- 1 男性が優遇
- 2 どちらかといえば男性が優遇
- 3 平等
- 4 どちらかといえば女性が優遇
- 5 女性が優遇
- 6 わからない

Q8 次にあげることがらについて、どう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。

- 8.1 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである
- 8.2 女性が仕事を持つのはよいが、家事・育児も女性がするべきである
- 8.3 子育ては主に母親の役割である
- 8.4 結婚は個人の自由であり、人は結婚してもしなくてもよい
- 8.5 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない
- 8.6 夫婦間の愛情がなくなれば、離婚もやむを得ない
- 8.7 親の介護は、息子よりも娘か息子の嫁がする方がよい
- 8.8 生活に困らないだけの収入があれば、それ以上の収入や昇進よりも私生活の充実を重視したい
- 8.9 自分の娘や身近な女性が科学者や技師、医師などの職業を目指すことには抵抗感がある

8.10 自治会長などの地域の役員のトップには男性になる方がよい

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

Q9 一般的に女性が職業を持つことについてどう考えますか。お考えに最も近いものを選んでください。

- 1 女性は職業を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
- 5 子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい
- 6 わからない
- 7 その他 ※具体的にお答えください()

Q10 次のうち、女性(または男性)の人権が尊重されていないと思うものを選んでください。(あてはまるものをすべて選択)

- 1 夫婦間での、身体に対する暴行
- 2 夫婦間での、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫
- 3 夫婦間での、性的な行為の強要
- 4 恋人間での、身体に対する暴行
- 5 恋人間での、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫
- 6 恋人間での、性的な行為の強要
- 7 職場などでのセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせのこと、セクハラともいう)
- 8 美人コンテスト
- 9 女性を受け入れない伝統行事や文化
- 10 インターネット上に無断で顔写真などを掲載する
- 11 広告内容とは無関係に身体を強調した広告
- 12 ヌード写真を掲載した一般雑誌
- 13 アダルトビデオ・DVD
- 14 ストーカー
- 15 性犯罪
- 16 上記の中にはない・わからない

Q11 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ、性的いやがらせ)について、経験したり見聞きしたことがありますか。

- 1 直接経験したことがある
- 2 直接経験したことは無いが、友人や職場の仲間など、自分の周囲に経験者がいる
- 3 周囲に経験者はいないが、話を聞いたことはある
- 4 セクシュアル・ハラスメントとは何かは知っているが、事例を見聞きしたことはない
- 5 セクシュアル・ハラスメントとは何か知らない

Q12 あなたの婚姻状況について、あなたにあてはまるものをお選びください。(配偶者と離婚・死別された方は未婚(独身)に含みます。)

- 1 未婚
- 2 既婚

- ※ Q12で選択肢1（未婚）を選択した場合はQ13を表示。
選択肢2（既婚）を選択した場合はQ15へ。

Q13 今後の結婚に関する状況・意識についてあなたにあてはまるものをお選びください。

- 1 結婚する予定がある
- 2 早く結婚したい
- 3 早く結婚したいができない
- 4 いずれは結婚したいが、しばらく独身でいたい
- 5 適当な相手に出会わなければ、一生結婚しなくてもよい
- 6 一生独身でいたい
- 7 わからない
- 8 その他 ※具体的にお答えください()

- ※ Q13で選択肢1（結婚する予定がある）を選択した場合はQ15へ。
選択肢1以外を選択した場合はQ14を表示。

Q14 前問で「結婚する予定がある」以外の答えを選択した方におたずねします。独身でいる理由は何ですか。（あてはまるものをすべて選択）

- 1 適当な相手がいない
- 2 異性とうまくつきあえない
- 3 親や周囲の人が同意しない
- 4 結婚生活のための収入が足りない
- 5 仕事を辞めなければならない
- 6 家庭に閉じ込められたくない
- 7 家事や子育て、介護などが負担
- 8 自分だけが家事、子育て、介護などを引き受けなければならない
- 9 自分のやりたいことができなくなる
- 10 自由や気楽さを失いたくない
- 11 人と同居したくない
- 12 親戚づきあいなどがわずらわしい
- 13 まだ若すぎる
- 14 結婚に必要性を感じない
- 15 その他 ※具体的にお答えください()
- 16 特に理由はない、わからない

Q15 配偶者（パートナー）との家事や活動などの分担はどのようにされていますか。独身の方は、結婚した場合のことを想定してお答えください。

- 15.1 食事の準備・後かたづけ、洗濯、掃除等の家事
- 15.2 育児
- 15.3 高齢者などの介護
- 15.4 町内会、地域の行事などの地域活動
- 15.5 高価な物品を購入するときの判断
- 15.6 預貯金や財産の管理

- 1 妻(女性)
- 2 主に妻(女性)
- 3 夫婦(男女)で同程度に分担
- 4 主に夫(男性)
- 5 夫(男性)
- 6 該当する家事や活動がない

7 わからない

Q16 あなたと配偶者(パートナー)との働き方について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。独身の方は、結婚した場合の希望を想定してお答えください。

- 1 共働き
- 2 主に自分が働き、配偶者は家庭生活に専念するか、家計を助ける程度に働く
- 3 主に配偶者が働き、自分は家庭生活に専念するか、家計を助ける程度に働く
- 4 とともに働かない
- 5 わからない
- 6 その他 ※具体的にお答えください()

Q17 あなたと配偶者(パートナー)との働き方について、あなたの希望と現実是一致的にいますか。独身の方は、結婚した場合、希望と現実が一致するかどうかを想定してお答えください。

- 1 一致している(一致しそう)
- 2 一致していない(一致しそうにない)

※ Q17で選択肢2(不一致)を選択した場合はQ18とQ19を表示。
選択肢1(一致)を選択した場合はQ20へ。

Q18 希望と現実(実情)が一致していない人(しそうにない人)におたずねします。あなたと配偶者(パートナー)との働き方について、あなたの現実に最も近いものはどれですか。独身の方は、結婚した場合の現実を想定してお答えください。

- 1 共働き
- 2 主に自分が働き、配偶者は家庭生活に専念するか、家計を助ける程度に働く
- 3 主に配偶者が働き、自分は家庭生活に専念するか、家計を助ける程度に働く
- 4 とともに働かない
- 5 わからない
- 6 その他 ※具体的にお答えください()

Q19 希望と現実(実情)が一致していない人におたずねします。希望と現実(実情)が一致していない理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

- 1 配偶者(パートナー)の希望だから
- 2 親や周囲の人の希望だから
- 3 世間の目が気になるから
- 4 どちらか一方が働けば十分な収入が得られるため
- 5 共働きでなければ十分な収入が得られないため
- 6 両方または一方が、求職中、職業訓練中、起業の準備中などのため
- 7 両方または一方が、就学中のため
- 8 両方または一方が、家事、子育て、介護などをする必要があるため
- 9 両方または一方が、地域活動などに携わっているため
- 10 両方または一方が、仕事以外にやりたいことがあるから
- 11 両方または一方が、働きたくないから
- 12 両方または一方に、健康上の理由がある
- 13 両方または一方が、高齢になったから(定年退職したから)
- 14 その他 ※具体的にお答えください()
- 15 特に理由はない、わからない

Q20 現在お子さんは何人おられますか。また、希望する子どもの人数は何人ですか。独身の方もお答えください。 ※子どもはほしくない、子どもはほしくない方は「0人」をお選びください。

20_1 今のお子さんの人数

20_2 希望するお子さんの人数(今のお子さんの人数を含む)

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人以上
- 6 0人

Q21 前問の「希望するお子さんの人数」の理由についておたずねします。

- 1 子どもをもっとつくりたいから
- 2 今の子ども的人数が理想的だから
- 3 子どもはもっとほしい(ほしかった)が、これ以上はつくらない(今の人数になった)から
- 4 子ども的人数はもっと少ない方がよかったから
- 5 子どもは一人もほしくないから
- 6 わからない
- 7 その他 ※具体的にお答えください()

※ Q21で選択肢3~5 (子ども持つことに消極的な回答) を選択した場合はQ22を表示。
それ以外の選択肢を選択した場合はQ23へ。

Q22 前問で「子どもはもっとほしい(ほしかった)が、これ以上はつくらない(今の人数になった)から」「子ども的人数はもっと少ない方がよかったから」「子どもは一人もほしくないから」とお答えになった理由についてお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

- 1 経済的余裕がない
- 2 子どもの教育費がかかる
- 3 家が狭い
- 4 育児が大変
- 5 育児の負担がもっぱら女性にかかる
- 6 仕事と子育ての両立が大変
- 7 子どもを生むと仕事を続けるのが難しい
- 8 出産・育児で仕事を長く休むとキャリア、昇進に影響する
- 9 夫婦だけの生活を楽しまたい
- 10 やりたいことができなくなる
- 11 年齢や健康に不安がある
- 12 子どもができなかった
- 13 子どもが好きではない
- 14 その他※具体的にお答えください()
- 15 特に理由はない

Q23 あなたの就業状況について教えてください。

- 1 正社員・正職員
- 2 非正規社員・非正規職員(パート、アルバイト、契約社員、派遣社員等)
- 3 その他の勤め人
- 4 自営業、自由業
- 5 学生
- 6 家事専業(主婦、主夫)、家族従業者

- 7 無職(上記を除く)
8 その他の職業 ※具体的にお答えください()

Q23で選択肢1～3(勤め人)を選択した場合はQ24～Q26を表示。
※ 選択肢6、7(非就業)を選択した場合はQ29へ。
選択肢4、5、8(自営業・自由業、学生、その他の職業)を選択した場合はQ30へ

Q24 次の項目について、あなたの職場の状況にあてはまるものをお答えください。

- 24.1 採用条件が女性に不利
24.2 女性は男性より賃金が低い、昇進が遅い
24.3 能力評価が男女平等ではない
24.4 女性は管理職に登用されにくい
24.5 配置転換に性別による差がある
24.6 能力がある女性でも、男性より就きにくい職種がある
24.7 補助的な仕事や雑用が女性に偏っている
24.8 結婚や出産に際して、女性が働き続けることが難しい
24.9 男性の方が育児休暇や介護休暇を取りにくい
24.10 男性の方が残業が多い
24.11 人員削減する場合、男性より女性の方が解雇されやすい

- 1 そう思う
2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない
4 そう思わない
5 わからない

Q25 仕事と家庭生活、地域・個人の生活について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。

- 1 「仕事」を優先したい
2 「家庭生活」を優先したい
3 「地域・個人の生活」を優先したい
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8 わからない

Q26 仕事と家庭生活、地域・個人の生活について、あなたの希望と現実是一致的に一致していますか。独身の方は、結婚した場合、希望と現実が一致するかどうかを想定してお答えください。

- 1 一致している(一致しそう)
2 一致していない(一致しそうでない)

※ Q26で選択肢2(不一致)を選択した場合はQ27、Q28を表示。
選択肢1(一致)を選択した場合はQ29へ。

Q27 仕事と家庭生活、地域・個人の生活について、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。

- 1 「仕事」を優先している
2 「家庭生活」を優先している
3 「地域・個人の生活」を優先している
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している

- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 8 わからない

Q28 希望と現実が一致していない人におたずねします。その理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

- 1 仕事が忙しい
- 2 家事が忙しい
- 3 子育てで忙しい
- 4 家族の介護で忙しい
- 5 経済的な余裕がない
- 6 健康に不安がある
- 7 家族などの理解・協力が得られない
- 8 適当な仕事がない
- 9 地域に参加したい活動がない
- 10 近所づきあいがほとんどない
- 11 趣味の講座や地域活動等に一緒に参加する仲間がない
- 12 趣味の講座や地域活動等の情報をどこで入手すればよいかわからない
- 13 何をしてもよいかわからない
- 14 その他 ※具体的にお答えください()

※ Q28の回答者(勤め人)はQ30へ。
 ※ Q23で選択肢6、7(非就業)を選択した場合のみQ29を表示

Q29 現在「家事専業(主婦、主夫)、家族従業者」・「無職」である理由について、あてはまるものをお選びください。(あてはまるものをすべて選択)

- 1 家事に専念したい
- 2 子育て中のため
- 3 高齢者の介護・病人の看護のため
- 4 就学中、職業訓練中、起業等の準備期間のため
- 5 地域活動などに参加したい
- 6 趣味やレジャーを楽しみたい
- 7 能力を活かせる就職先がない
- 8 正社員など雇用の安定した就職先、十分な収入が得られる就職先がない
- 9 派遣業者から仕事の紹介が来ない
- 10 就職先を選んでいるわけではないが、就職先が見つからない
- 11 高齢になったから(定年退職したから)
- 12 健康上の理由
- 13 家族の同意・協力が得られない
- 14 働く必要がない
- 15 働きたくない
- 16 その他 ※具体的にお答えください()
- 17 特に理由はない

Q30 女性が結婚・出産などに際して退職せずに働き続けたり、再就職をしやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで選択)

- 1 男性の家事・育児への参加促進
- 2 残業を減らすなど、男性も含めた働き方の見直し
- 3 育児休暇、介護休暇の充実、利用しやすくする

- 4 保育所や子育て支援施設等の充実
- 5 ホームヘルパーや福祉施設の充実
- 6 短時間社員、フレックスタイム、在宅勤務等の多様な働き方ができる制度の普及
- 7 昇進・昇給等の職場での男女平等を進める
- 8 パートタイマー、派遣労働者等の労働条件の改善
- 9 非課税限度額等の優遇制度をなくす
- 10 結婚・出産等による離職者の再雇用制度の充実
- 11 その他 ※具体的にお答えください()
- 12 わからない

Q31 男性の家事や子育て、介護、地域活動への参加をすすめるためには、どんなことが必要だと思いますか。(3つまで選択)

- 1 日々の労働時間の短縮
- 2 休暇制度の充実
- 3 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
- 4 男性の家事などへの抵抗感をなくす
- 5 夫婦や家族、周囲の人の理解
- 6 男女の役割分担についての社会通念、慣習などを改める
- 7 子どもの頃からの家庭や学校での教育
- 8 男性の家事、子育て、介護などの技能の向上
- 9 地域活動についてのノウハウや情報
- 10 男性の地域での仲間、ネットワークづくり
- 11 その他 ※具体的にお答えください()
- 12 わからない

Q32 地域での次のような活動等のうち、現在参加している活動と今後参加したい活動はどれですか。(それぞれ3つまで選択)

32.1 現在参加しているもの

32.2 今後参加したいもの

- 1 まちづくりのための活動
- 2 子どもを対象とした活動
- 3 高齢者を対象とした活動
- 4 健康や医療に関する活動
- 5 自然や環境を守るための活動
- 6 防災に関係する活動
- 7 安全な生活のための活動
- 8 国際協力に関する活動
- 9 スポーツや文化、芸術、学術に関する活動
- 10 伝統行事や伝統芸能などに関する活動
- 11 学校関係の活動(PTAなど)
- 12 自治会・町内会等の地域自治活動
- 13 自治体の議員や審議会委員等への就任
- 14 その他 ※具体的にお答えください()
- 15 参加している(したい)ものはない

Q33 京都府の男女共同参画を推進するための拠点施設である京都府男女共同参画センター「らら京都」の事業のうち、重要だと思うものや今後拡充してほしいものはどれですか。(3つまで選択)

- 1 男女共同参画に関する啓発、学習・研修
- 2 就業や職業生活の支援(就業に役立つ知識、技能や資格取得の講座等)
- 3 起業の支援(相談、講座、チャレンジオフィス等)

- 4 子育ての支援(支援情報の提供、子育て中の親の交流の場の提供、保育ルームの充実等)
- 5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための取組(実践講座、講師・取組事例の紹介等)
- 6 男性を対象とする事業(男性の生き方や家事・育児・介護、職業生活に関する講座等)
- 7 配偶者からの暴力(ドメスティック・バイオレンス、DV)に関する相談や被害者の支援
- 8 低収入等による生活困難な状況にある女性の支援
- 9 相談(女性の悩み・生き方、家庭問題、労働問題、法律問題など)
- 10 情報提供(インターネット、図書、資料、セミナー・イベント情報など)
- 11 地域の活動団体・グループの活動支援(会議、学習、交流の場の提供、講師紹介等)
- 12 地域の活動団体・グループ、関係機関の連携・協働の支援
- 13 各種団体や地域で活躍する女性人材の発掘・育成
- 14 地域活性化や地域再生の拠点づくり
- 15 その他 ※具体的にお答えください()
- 16 特になし

Q34 男女共同参画社会の実現のため、京都府はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。(3つまで選択)

- 1 男女平等を進めるための条例・制度などの制定・見直し
- 2 男女平等を進めるための慣習などの見直し
- 3 男女共同参画についての情報提供、意識啓発
- 4 学校などでの男女の平等と理解・協力についての教育
- 5 審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 6 各種団体や地域で活躍する女性人材の育成
- 7 女性の就業、再就業の支援、働く女性への支援
- 8 職場での男女均等な取扱いの啓発・徹底
- 9 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進
- 10 低収入等による生活困難な人々への支援の充実
- 11 子育てや介護等の施設・サービスの充実
- 12 高齢者の経済的自立や社会参加の支援
- 13 NPOや地域で活動する団体・グループの支援
- 14 市町村との連携強化
- 15 男女共同参画センターの機能強化
- 16 その他 ※具体的にお答えください()
- 17 特になし／わからない

Q35 京都府の男女共同参画施策等について、御意見等があれば自由にお書きください。(自由記述)